

今・岐阜であこっていること

一見ようとしないと見えないこと――

プラットフォーム in 岐阜

2017年岐阜市地域懇談会は、岐阜市の中川健史さんとの交流をすすめました。中川さんは困っている人たちーシングルマザー、ひきこもり、不登校ーの相談にのり、ネットワークをつくりあげ、力になろうと活動されています。私たちの身のまわりでおこっていることに気づき、何か自分のできることをするということは、私たち自身のくらしや社会をつくりたうことだと、中川さんのお話を聞いて気づかされました。今岐阜でリアルに

2018年7月21日(土)

おこっていることを
聞きましょう!!

13:30~15:30

会場：コープぎふ

大会議室

参加費 無料

みなさんの参加を

お待ちしています!!

中川健史

さんは、こんな人と、とても一言では表せません。活動は多岐にわたり……
うらに、説明があります。

プラットフォーム in 岐阜 参加申し込み書

Faxまたは電話でお申し込み下さい。

地域と協同の研究センター 事務局

電話 052-781-8280

Fax 052-781-8315

お名前

電話

所属(団体名・職業・組合員)

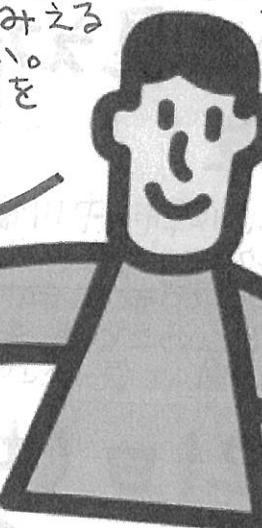
いただいた個人情報は企画の連絡がある場合のみ利用させていただきます。

私は 清掃という職業に少ない年金を補うために就いた。

4時間×5日／週 休みは年末年始の6日のみ。あとは 土日も祝日も

シフトを組んで勤務。時給は最低の800円なり。せめて週4日にこと願う。けれども 女性14人のうち、5名の人は、スーパーでホテルで、福祉施設で…と2つ、3つとかけもちで働いてみえる
2万3万の年金なら、働くしかない。
働くことによって、自分の尊厳を保とうと させている。

「女性の貧困」とは こうすることだと
矢口たご。



中川 健史さん

NPO法人 仕事工房ボボロ理事長
一般社団法人 キッズ学習支援ネットワーク
(共同代表)
一般社団法人 よりどりネットワーク
子ども若者支援ネットワーク・きよる
(代表理事)
(共同よびかけ人)
NPO法人
きよるNPセンター(副理事長)

中川さんは
こんな活動を
されています。

毎月 私にどくニュースレター(不登校・ひきこもりの子でも、若者と交流する月刊誌、年間購読料3000円)の6月号表紙に「ボボロ自由市場」(仮)の記事が掲載されています。「食糧支援のためにいただいているパンの無償配布、かこてて家庭で眠っている食品の提供をおねがいするフードドライブ」いただいた転化、絵ハガキやコーヒーの販売、寄付して頂いた衣料品や雑貨のフリーマーケット、クッキーなどの手作りも丁真けるとありがとうございます」とあります。私も絵ハガキの購入や畠の野菜や衣類など近所の方の手作りもあり、たまに届けていますよ。一人の力では小さな支援ですが。

さらに、「居場所」から始まったボボロの活動は「出番」と「役割」づくりへ新しい一歩を踏み出しますと宣言されています。7月フォーラムでの中川さんの講演ぜひタタかの方に聞かれていたいです。F

岐阜の地域でもさまざまことがあります。でも問題意識を持った視点や感度の良いアシテナを立てていないと、それは見えません。中川さんは起こっているできごとを果てにリアルに把握し対応をしています。今回の7月フォーラムはそんな中川さんのお話をうかがいます。生協の職員のみなさんも自分から対応している地域で何がおこり、どんな動きがあるのか、ぜひつかんでいただきたいと思います。それが自分の仕事や生き方に大きな影響を与えてくれると思います。

K